

平成9年9月11日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報（気象編） 第25号

—降雪量分布予報の開始について—

気象庁では、平成8年3月から天気、降水量、気温、最高・最低気温についての分布予報を発表してきましたが、その内容をさらに充実するため、平成10年1月19日から、降雪量の分布予報を新たに実施することとしました。

1 降雪量分布予報の概要

(1) 降雪量分布予報の開始日時

平成10年1月19日（月）18時発表の予報から実施

(2) 実施官署及び予報対象地域

今年度は、以下の3官署のみで実施し、他の官署（沖縄気象台を除く。）の業務開始時期は、今年度の評価に基づき、来年度実施する方向で検討することとしています。

今年度開始する官署：札幌管区気象台，仙台管区気象台，新潟地方気象台

今年度実施する地方：北海道地方，東北地方，北陸地方

(3) 降雪量分布予報の実施期間

降雪量分布予報の実施期間は、全国的（沖縄地方を除く。）に実施する期間と、その期間の前後に地方の実状に応じて延長する期間を設けます。

全国的に実施する期間：12月1日～翌年3月20日

地方毎に延長する期間：札幌管区気象台：3月21日～3月31日

仙台管区気象台：なし

新潟地方気象台：なし

上記の延長期間は、来年度以降、変更する場合があります、この場合は予めお知らせします。

(4) 予報発表時刻

6時，12時，18時（中央標準時）

(5) 予報期間

6時間降雪量分布を24時間先まで（4コマ）

天気、降水量等の分布予報は3時間間隔8コマですが、降雪量については6時間降雪量を予報しますので、4コマです。

(6) 予報の形式

約 20km 格子の分布予報（天気、降水量等の分布予報と同じです。）

(7) 予報の表現

格子内の平均的な 6 時間降雪量を、「なし」、「2cm 以下」、「3-5cm」、「6cm 以上」の 4 階級で表示します。

2 予報の提供方法

降雪量分布予報は、他の分布予報同様、オンライン数値データにより、(財) 気象業務支援センターを經由して配信します。

なお、降雪量分布予報も他の分布予報と同様に、暫定措置として、府県予報区担当官署から予警報一斉伝達装置（FAX 図）による提供も実施します。

(1) オンライン数値データ提供官署と情報の内容

気象庁本庁：予報を実施する地方予報区すべての予報を提供します。

本庁から配信する電文は、他の分布予報と同様に、地方官署が作成した電文と、予報区の境界付近の値の整合をとった電文の 2 種類です。整合をとった電文は、降雪量分布予報を全国的に実施する期間のみ配信し、地方毎に延長する期間は配信しません。

地方予報中枢官署：担当する地方予報区の予報を提供します。

府県予報区担当官署：担当する府県予報区を含む地方予報区の予報を提供します。

(2) 通報式等

データ種類コード：KYEE ii （ii は地方予報区毎に異なる。）

（ii は、北海道が 06、東北が 11、北陸が 26 です。）

通報式：国内二進形式格子点通報式（他の分布予報と同じ。）

6 時間降雪量のレベル値は下の表のとおりです。

レベル値	意 味
1	降雪量なし
2	2 cm 以下/6 時間
3	3-5 cm/6 時間
4	6cm 以上/6 時間
255	不明

また、国内二進形式格子点通報式の「第5表パラメータの種類」において、降雪量の数字符号は下記のとおりです。

数字符号	パラメータ	単位
231	レベル降雪量	—

(参考) 予警報一斉伝達装置による FAX 図による提供

担当の府県予報区を含む範囲の降雪量分布予報を B4 版 1 葉にまとめて提供します。ただし、予警報一斉伝達装置では、防災情報の迅速な伝達を妨げないため、提供する FAX 図の枚数に制限を設けており、提供の有無は官署毎に定めます。

3 今後のスケジュール

(1) サンプルデータの提供

オンライン配信を行うデータのサンプルをご入用の方は、(財) 気象業務支援センターにご連絡ください。9 月末頃、同センターに提供する予定です。

(2) テスト配信

12 月中旬からテストデータの試験配信を実施します。テスト配信期間中は機器の調整等のため、配信しない場合もあります。また、テスト配信は利用者側のソフト確認のために行うもので、正式な予報ではありませんので、取扱いには留意願います。

